

中部品質管理協会会報

第13号

Central Japan Quality Control Association

2014. 8発行

「モノづくりは、人づくり」



引き継ぎます、ひとづくりにおける、その熱き思いを！

平成26年7月総会日をもって、当協会の会長が好川純一（トヨタ紡織㈱特別顧問）から、佐々木眞一（トヨタ自動車㈱相談役・技監）に交代。好川氏は顧問に就任しました。
好川前会長には、会長ご任期中、組織運営のみならず、「先史先人に学ぶ品質経営塾」の塾長として後進の育成にあたられ、引き続き塾長として指導にあたられます。
バトンを引き継いだ佐々木新会長のもと、中部品質管理協会は、皆様のご期待に応えるべく時代のニーズにあった事業の展開を進めてまいります。

◆内容◆

- 1 「ご挨拶」 新任会長 佐々木 眞一
- 2 2014年度職場改善事例発表大会レポート(2014年7月1日)
- 3 協会だより(10月23日質創造大会ご案内/品質SAIKOUコラム)

新会長のご挨拶



中部品質管理協会 会長

佐々木 眞一

皆様、こんにちは。自己紹介をさせていただきます。

7月に行われました総会で前任の好川さんから会長を引き継ぎました。トヨタ自動車に勤務しております。生まれは秋田県、育ったのは主に愛知県です。

品質管理との出会いは、昭和45年トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)に入社した時です。新入社員として元町工場の検査部に配属され、それ以来、何らかの形でトヨタの品質保証と共に仕事を続けて来ました。

近年は、品質は工程で造り込む『自工程完結』の推進に力を注いで来ました。

現在は、相談役・技監という立場で、現役の人達を裏方として支える仕事をしながら、これまでお世話になった色々な関係の方への恩返しをするため、もう一息頑張ろうかと微力を尽くす日々であります。

今回の中品協会長職を拝命した事、私にとりましては、その恩返しの大きな機会を頂いたと感じております。未だ浅学非才の身ではありますが、協会会員の皆様のお力をお借りしながら、職員共々努力をしてみたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

今日、日本の経済はアベノミクス効果により、20年以上の低迷から抜け出そうとしています。この勢いを確かなものにするためには、元々日本の産業の強みである品質に一層の磨きをかける事が重要である事は明白であります。

とりわけ日本の産業を見た時、製造やサービスの現場の強さに比べスタッフ部門は他先進国に対し、同様の競争力があるとは言い切れません。

我が社の実態でも、開発や企画といった業務は関連部門との調整や問題発生の際に会議会議の連続です。

これは、製造現場で言えば、手待ちや手直しばかりで少しも生産が出来てない状態ということで、改善の余地は大であります。スタッフの業務領域での競争力強化が、日本の産業力向上のチャンスとも言えます。

中品協の活動が会員各社様の真の競争力強化に結び付くような、新しい視点での企画にも力を入れて行きたいと考えておりますので、皆様の積極的なご参加をお願い致します。

最後に、会員各社の皆様方の中品協への格別なご配慮に感謝を申し上げまして、新任に当たってのご挨拶とさせていただきます。

7月1日『2014年度中部品質管理大会管理大会 -職場改善事例発表大会-実施報告・西堀賞発表』

【大会概要】

「2014年度中部品質管理大会—職場改善事例発表大会」を、去る7月1日に大府市勤労文化会館にて開催させていただきました。おかげさまで本年も、400名余のご参加をいただき、盛会のうちに終了できましたことを報告とともに感謝申し上げます。

中部品質管理協会主催による職場改善事例発表大会は、1971年の創設以来とぎれることなく1年に1度、継続開催させていただいております。

発表区分として①管理監督者 ②QCサークル改善 ③QCサークル推進者の3つを設け20件余りの事例発表をいただいております。

本大会でご発表いただく事例は、いずれも選ばれた優秀事例ですが、その中でも特に優秀と思われる事例については、「西堀賞」を授与しています。

この「西堀賞」は、当方創設時の功労者であり、日本全土、そしてこの中部地区において品質管理の普及に尽力された故・西堀榮三郎博士にちなみ、第1回大会より設けられた賞です。西堀博士は初代名誉顧問として、創設時からお亡くなりになるまで、この大会で自ら優秀事例の審査に臨み、賞を授与されていました。

1989年に西堀博士が亡くなられ、すでに25年あまりが過ぎましたが、当協会では故人の遺志を継ぎ、創立時の使命に立ち返り、当地区における品質管理の普及・人材の育成という目的での本大会開催と西堀賞審査をその後も継続しております。

しかし、当方に意志があるだけでは継続開催はできず、こうして本大会を継続開催させていただけるのは、一重に、たゆまぬ努力で職場の改善に日々取り組み、継続して人材育成を遂行されている当地区企業様あってのことです。皆様との、この長き良きご縁に、改めて深く感謝申し上げます。

本年度については、20事例が2会場に分かれ、ご発表いただき、その中で、7事例が西堀賞を受賞されました。右記いたします。



また、大会基調講演として、例年と少し趣向を変え、東日本大震災の被災地の宮城県三陸地方を取り上げた映画「うたごころ」を上映。

この映画監督も招へいし、実際、自主映画を作るにいたった思い、現地で見聞したこと、人々の暮らし等を、たくさんの写真とともにお話いただきました。実施後のアンケートでは、参加者から「被災地の復興を見守り続けなければと感じた」「感動した」「人間の強さと弱さ、家族の意味、絆とは何かを改めて考えさせられた」といったコメントが多く寄せられました。大震災から3年が過ぎ、マスメディアもあまり報道しなくなった被災地のその後ですが、こうして情報発信をすれば、共感し、自分事として受け止めて問題意識をもって下さる方々が多いことに、当地区の健全さも感じた次第です。引き続き、ご参加よろしく願いいたします。(文責：細見)

2014年度西堀賞受賞

受賞、おめでとうございます！

(*敬称略)

会社名・受賞者名	事 例 テ ー マ
アイシン精機(株) 鈴木浩司	環境変化に対応できる工程・人づくり
(株)ジェイテクト 森田淳二・永田卓也	「気づきと考動」でやり遂げた、工程生産能率100%への挑戦
小島プロ工業(株) 平山富康・本村祐輔	ユーザー満足度 No.1 を目指して、夢の高性能マイクへの挑戦
アイシン・エイ・ダブリュ(株) 原 一道	やれば出来る！達成度をやる気につなげた私が取り組んだ推進活動
大同特殊鋼(株) 深堀勝臣	デバディンクジャーバイト整備作業の安楽早正
(株)ジェイテクト 古谷 太賀	組付トルク NG 根絶
トヨタ自動車(株) 平山美郷	樹脂メッキ品の調査方法確立

10/23中部“質”創造マネジメント大会開催！

1. 基調講演 会長 佐々木真一

2. 講演

①滋賀ダイハツ販売(株) (2013年度日本経営品質賞受賞) 代表取締役社長 後藤敬一氏

②(株)メイドー(2013年度デミング賞大賞受賞) 代表取締役社長 長谷川 裕恭氏

3. 特別講演

JAXA 安全・信頼性推進部長 泉 達司氏

＜日時＞ 平成26年10月23日(木) 12:45～16:50

＜場所＞ ウィンクあいち 大ホール

多くのご参加をお待ちしております！！

furuyaの品質SAIKOU

検査と品質

最近、食品の問題が大きく報道された。海外で使用期限を数カ月も超過した肉を加工したものが、日本の市場に大量に出回ってしまったというから驚きである。どうしてこんなことが起こってしまうのだろうか。これは決して対岸の火事ではない。少し前には、我が国でも工場出荷前の加工食品に農薬を混入させるという、世間を震撼させた事件が発生したばかりである。食材偽装事件も記憶に新しい。どこにでも起こり得ることなのだ。

こうしたことへの対処として先ず考えられるのが、徹底した監視体制の強化であろう。至る所に監視カメラを設置して一人ひとりの行動を常時見張るのである。確かにこれではごまかせなくなるので、一定の抑止力になる。ところが今回のケースでは、管理者も加担していたというからすさまじい。またこのような対策には限界がある。人の狡賢さは、網を掻い潜ってまた悪事を発生させてしまう。まさにキリがない。

では、どうすればよいのか。品質管理では「検査をいくら厳しくしても品質はよくなる」と言われている。それぞれの工程で品質を造りこむ、すなわち目指すところは「自工程完結」なのである。その実現のためにはそこに働くすべての人が高い品質意識を持って、必要となる知識・技能などを身に付け、毎日やりがいを感じながら仕事に取り組むことが不可欠となる。「モノづくりは人づくり」と言われる所以である。冒頭の食品加工会社ではこうした人材の育成を、全く行ってこなかったのではないか。人づくりの取り組みを蔑ろにすると、その代償はあまりにも大きい。

【編集後記】 この夏は、いかがお過ごしでしたでしょうか？花火や盆踊り等、楽しいイベントの多い時期、皆様にはよい時間を過ごされたことと思います。残念ながら、この中盤から季節外れの台風襲来が2度もあり、局地的に急な豪雨による増水や土砂崩れで貴い命が犠牲になり、心からご冥福をお祈りします。偉大なる自然は、時として残酷にも人間の小ささを教え、叡智を養ってくれると実感もする夏でもありました。(細)

(発行元)

中部品質管理協会

〒450-0001 名古屋市中村区那古野1丁目47-1 名古屋国際センタービル11階

TEL (052) 581-9841 FAX (052) 565-1205

<http://www.cjqca.com>